

じっくり生徒と向き合うことで
一人ひとりの可能性を引き出す教育

教育理念は「自ら考え、判断し、行動することのできる若者を育てる」。問題の答えを「教える」だけの効率主義ではなく、生徒一人ひとりの個性や興味を「引き出す」教育を実践する獨協埼玉中学高等学校様。高大連携で獨協医科大学医学部の教授から講義を受けたり、獨協大学への推薦資格を得られる「獨協コース」で年間30冊以上の読書課題や16,000字以上の卒業論文作成に取り組んだりー。



「一人ひとりに大きな可能性があるので、早い段階でのコース分けはしていません。様々な機会に触れる中で、自ら考え抜いて進路を決めてほしいと思っています」とお話しいただいたのは校長の尾花様。

取材前日にあった稲刈り体験でも、興味の対象は十人十色。食に思いを馳せることもあれば、農業の動向や昆虫に興味を持つ生徒もいます。入学時には「数学が得意だから理系に進む」と言っていた生徒が、同校で学びを深めていくうちに別の分野に興味を持つことも。

Koshigaya City
越谷市

「前例があって採用しやすかった」
 体育館なのに“工場用ゾーン空調機”

同校から空調のお問い合わせがあったのは2023年10月。総務係長の則松様からお電話をいただきました。昨今の猛暑から生徒を守るため、かねてより体育館への空調導入を考えていたとのこと。当初は教室に設置したエアコンの工事会社に相談し、体育館にも天吊形PACの設置を検討されていました。ところが、教室と異なり大空間を空調するには台数がかさむうえ、効果が得られる確証が持てなかったため断念。WEBで情報収集されている中で、当社ホームページを見つけていただきました。

お問い合わせのきっかけになったのが“導入事例”。則松様には「似たような用途ですすでに実績があったので、導入後のイメージがしやすかったです」とお話しいただきました。現場調査と打ち合わせを経て、工場用ゾーン空調機CRV2型を選定。導入した際の気流シミュレーションも提出し、ご納得のうえで発注いただきました。



埼玉県越谷市
獨協埼玉中学高等学校 様

納入製品
空冷直膨式工場用ゾーン空調機

納入年度
2024年7月(2024年9月取材)



屋外の運動部が体育館へ“避暑”に来る
目に見えてわかった空調の効果

今回は設置工事まで当社が担当。本格的な夏が到来する前の完工をご希望でした。校内にクレーンやトラックが出入りすることから、立入禁止エリアを一目でわかるよう工夫し生徒の安全に配慮。2つある体育館のうち片方が使えなくなるため、則松様には体育の授業や部活動のスケジュールをご調整いただきました。

当社の工事担当者も「引き渡し直前とはにかく暑くて大変でした」と振り返る夏前の工事。ちょうど期末テストと時期が重なったため、特に大きな音の出る作業はテストと日程をずらすなど学校生活にも配慮しながら進行了ました。

空調導入までの流れ

年	月	協協埼玉中高様	木村工機
2023	10	お問い合わせ	
	11		現場調査
	12		気流シミュレーション
2024	1		金額見積
	2	ご検討	
	3		
	4	ご発注	
	5	中間テスト	基礎工事 
	6		
	7	期末テスト	室内機搬入 室外機搬入 試運転 
工事完了・引き渡し			
		終業式	

お問い合わせから引き渡しまで一気通貫のメーカー対応

無事に工事が完了し、引き渡しの翌日は1学期の終業式。体育館に空調機が設置されることは、事前に生徒には公表されていませんでした。そうとは知らず、終業式のために体育館に集まってくる生徒たち。「あれ？なんだか涼しい」「見て！空調機が付いている」。到達距離20mのパワフル爽風を吹き出すCRV2型が、生徒たちの歓声に包まれました。

Dr. Yoon Gwang-goo is a senior research fellow at the Korea Research Institute of Chemical Technology (KRICT). He has a Ph.D. in Chemistry from Seoul National University and has been working at KRICT for over 20 years. His research interests include the development of new materials and processes for the chemical industry.

獨協埼玉中学高等学校
校長
尾花 様

校長の尾花様も「ドアを開放していても涼しかったです」とその効果に太鼓判。さらに同校では、空調機の導入前から1日に2回、体育館の暑さ指数(WBGT)を記録しています。導入前は熱中症嚴重警戒ラインの28℃を超える日が多かったものの、導入後は平均22~23℃で推移。今では熱中症対策のため、グラウンドで活動する運動部員が、体育館に“避暑”にやって来ることも。尾花様には「空調機の導入前後で、環境が本当に違います。生徒はもちろん、保護者からも喜びの声が上がっています」とお話しいただきました。

未来を担う一人ひとりに届ける爽風は
生徒にも評判の確かな効果

取材のため校内を歩いている時に見つけた学校新聞「DOKKYO NEWS」。偶然にも、体育館に設置された空調機が生徒に好評だという記事が掲載されていました。その効果に「ホッとしました」と話す則松様。パワフル爽風は、未来を担う一人ひとりに確かに届いていました。

